

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフピー介護サービス 株式会社	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・法人共通介護方針として、①個別ケア、②認知症ケア、③看取りケア、④地域ケアの4つのケアを大切にし、地域に密着した介護改革と社会貢献を目指す。 ・自立支援への取り組みとして、隣接する農園で利用者様と一緒に野菜や果実を収穫し、下ごしらえから調理まで利用者様と一緒に行うなど、生活の中で培ってきた能力を発揮する場を設け生活リハビリを行っている。 ・高速道路無料区間出入り口近くのため、離れたエリアからも短時間で移動可能。 ・自然豊かで野鳥などが生息し、住宅地から少し離れた静かな立地。 					
事業所名	小規模多機能 あつたかほーむ いしづえ	管理者	小須田 龍紀							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	1人	1人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の内容変更後の実行経過確認作業を計画作成者・リーダーが中心となりカンファレンスを行い検証していく。また、ご利用者様の変化があった場合も同様に行う。 ・手順書に変更がある場合には担当者が修正を行い他スタッフに情報共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様に変化があった場合にはその都度カンファレンスを行い、検証することができている ・担当者がうまく機能できていなかつた 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容、手順書等の変更は担当が発案し、計画作成者・リーダーがカンファレンスを承認するという形をやってみてはどうか？ ・改善計画についてはもう少し具体性を持たれた方が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜に訪問内容の再確認も兼ねて、個別のカンファレンスを行う。 ・カンファレンス時担当者が主となって課題となっていることを話し合い文書として残し情報共有を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の備品や設備を温存し経費をかけず、狭い空間を最大限有効活用しサービス提供を図れるよう努力する。 ・アンケート調査を行い、スタッフが気付かない点を把握し改善に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所移転があり、新しい環境に利用者様も職員も慣れて来て、うまく設備、空間を活用できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所移転があったが、前事業所に引き続き居心地のいい空間になっていると感じる ・開放的で居心地のいい環境と思います。唯一、すぐ隣に交通量の多い道路が通っており、利用者の事故防止には労力がかかるので大変と思いますが、万全の対策をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き居心地のいい環境づくりを行う。 ・畑が敷地内にあるので野菜作りを行い、季節が感じられる畑作業を事故のないように利用者様と共にに行って行く
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地区行事等に参加していく。 ・挨拶や何気ない会話など継続していく、地域との関係性を大事にしていく。 ・地域の方に知ってもらえるよう事業所からも事業内容などを発信をして行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事等に参加できている ・地域の方に対して事業所を知つて頂く機会を作ることができなかつた 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事にも積極的に参加できているし、とてもいいと思いますが、地域に向けてここにこういう事業所があるという周知ができればさらにいいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地域行事等には参加し、また参加するだけではなく、地域の方に参加して頂けるイベントを企画する。 ・感染症も落ち着いてきたため外部によるボランティアも募っていく

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 行政や包括支援センター及び他包括支援センターとの連携を図り、地域資源を活用しながら適切にサービス提供が行えるよう働きかけていく。 感染対策を講じながら、利用者様地域の行事参加やご近所の方との交流等していただく様に務める。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に参加することができた。 ドライブや散歩を通し、地域資源も活用することができた 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者以外のご近所の心配な方への関り、難しい部分はあるが、運営推進会議などで、区の方から情報提供や相談にのるなど、可能な範囲で対応できることがあるかもしれない 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集を行い、地域資源を活用しながら利用者様の生活を支えていく 運営推進会議を通して、地域で困っている方がいれば、事業所としてできることを協力させていただく
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議での事業所の報告や、当該包括支援センター及び区以外にお住いの利用者様状況の報告、事業所の課題や問題を提示し、推進委員の方々から、意見や助言をいただきながら事業所の課題や問題解決に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議で頂いた意見や助言をもとに問題解決を行うことができたが、その結果を運営推進会議で報告するまでに至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の意見を改善に繋げている事例はあると思うが、見えにくい部分があると思うので、会議の中で議題に出すなど検討して欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議で頂いた意見や助言について改善できた部分を会議の中で検討し報告する
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策を講じながら災害・防災訓練を行っていく。 自然災害発生時の対応策等を講じていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害発生時訓練を含め年3回の訓練を行うことができ、AEDの使用方法や心肺蘇生法について、消火器の取り扱いについて学べた。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練へ一緒に参加することはいいことだと思う 事業所の防災計画を周知（家族の方や関係者への配布） 	<ul style="list-style-type: none"> 防災計画の周知を行う 事業所移転による変更点が多数ある為、再確認する